

ぼうさい通信 56号



令和4年6月16日発行
熊本県立湧心館高等学校

出水期の防災



6月11日（土）に九州南部・北部ともに梅雨入りが発表されました。梅雨入りから台風の多い秋頃までは出水期と呼ばれ、大雨による川の増水、道路冠水や家屋の浸水などに特に警戒が必要です。湧心館高校は熊本市出水にあり、住所からも分かるように豊かな水に恵まれた立地にあります。しかしその分、水害に対しては職員、生徒、保護者それぞれで日頃から警戒や準備をしておく必要があります。今月号では水に関する災害について重点的に考えてみたいと思います。

令和2年7月豪雨を覚えていますか



2年前の7月、天草・芦北地方、球磨地方、宇城八代地方に大雨による甚大な被害が発生しました。のちに「令和2年7月豪雨」と呼ばれるこの災害では、熊本県内だけで死者65人、負傷者50人、住宅の全壊1,493棟、半壊3,116棟（R4.2.3現在）と報告されています。7月3日から4日にかけての24時間雨量では、熊本をはじめとする九州各地で500mm前後の雨量が記録されています。私自身、この「ぼうさい通信」を書きながら、あの時のニュース映像や、芦北にある祖父母の家を片付けに行った時の悲惨な状況の記憶がよみがえり、もう一度自分や家族の避難計画を見直そうと思いました。

マイタイムラインの準備を

「タイムライン（防災行動計画）」というものをご存知でしょうか。土砂災害、大雨、台風、高潮など水に関する災害は、火災や地震と違って、ある程度予測できる災害と言われています。そのため、「早期注意情報（警戒レベル1）」が出されてから、「大雨特別警報、氾濫発生情報（警戒レベル5）」までの各段階に応じた行動計画を立て、避難スイッチがはっきり分かるように1枚の紙にまとめたものをタイムラインと呼んでいます。



熊本県では、各個人（家族）専用のタイムラインである「マイタイムライン」の作成を全県民に呼びかけています。専用サイトには必要な情報が集約されており、手順通りに入力していくと完成するようになっています。是非この機会にマイタイムラインの作成をお願いします。詳しい情報は「くまもとマイタイムライン」で検索、または右のQRコードからアクセスしてください。



家族でやってみよう！

防災シミュレーション

先日、防災委員会に所属している生徒には簡単な防災シミュレーションに取り組んでももらいました。ここでもいくつか例を紹介しますので、是非家族で取り組んでみてください。各家庭で家の周囲の状況や家族状況は違うと思いますので、書かれていない様々な場合も想定しつつ、家庭ごとに最適解を考えてみてください。

ケース 1

皆さんは湧心館高校に通う高校生とその家族です。平日のある日の朝です。昨夜から雨が続いており、学校に行こうと家を出たものの、通学途中の道路が冠水していつもの道が通れなくなっています。しかし、すでに学校の近くまで来ていて迂回すればどうにか学校までは行けそうな気がします。遅刻するかもしれませんが、このまま迂回して学校へ向かいますか？それとも家に引き返しますか？

うちの家族はこうしよう

学校に連絡は必要？

家族と相談？



ケース 2

皆さんは高校生とその家族です。ある日の夕方です。先ほど学校から帰って来たところですが、保護者はまだ仕事から帰って来ません。今日は一日中かなり雨が降っていて、この後も夜にかけて雨は降り続くようです。ニュースを見ると、今後3時間以内に氾濫すると予測される「氾濫危険情報」が家の近くの川で30分ほど前に発表されたようです。今はまだ明るいですが、1時間もすれば暗くなりそうです。保護者に電話をかけてみましたがつながりません。すぐに近くの避難所に避難をするべきでしょうか？それとも保護者の帰りを待った方がいいでしょうか？

うちの家族はこうしよう

避難するならば何を準備？

家に残るのなら
できることは？



【文責 全日制防災担当】